

再発見 ふるさと風土記 上新城の伝説 シリーズ

③「阿彦館の墨染めの桜」と「阿彦の浮島」



阿彦館に「墨染めの桜」と阿彦沼を漂う「浮島」があった。
菅江真澄が石名坂の古老たちを尋ね、聞いた話を書き留めている。
媼の一人は「花は八重の白い桜で、芯だけ、くっきりと黒い墨の色だった」と言い、もう一人の翁は「花びらが、薄い墨色というか鼠色。3月の末に毎年咲いていた。見事な大木だったのに、悪僧が枯らしてしまった」と言ったという。

浮島のある阿彦沼は、館の北東に残っている。昔は巨大な大蛇が住んで、館を守っていたという伝説があるが、今は小さくなって、浮島なるものも木の根や草の根が湖底に張り付いたものか、浮いていた当時の面影はない。

真澄の見聞が「ふでのまにまに」に載っている。
「安彦山の麓に安彦沼があって、水面に小さな浮島が漂っている。このことは『桜狩』という日記にも書いたが、ここにも記しておく」。さらに、「つきのおろちね」にも同じような記述があって、この浮島の姿を絵にして載せると言っているが、この稿は未発見本となっている。

郷土史研究家 永田 賢之助

上新城のペット物語



vol.3 みんなの実家 門脇家のキュートな看板犬♪

サンちゃんは、5歳の女の子。みんなの実家 門脇家のオープンのため、一足先に埼玉から上新城へ移住した成英さんがさみしくないようにと、奥様の美子さんがサンちゃんを家族に迎えました。

とっても人懐っこいサンちゃんは、お客さんが来ると「いらっしやいませ!」と玄関まで迎えに行きます。吠えたりかじったりすることもなく、おとなしくて、人に撫でてもらうことが大好きなサンちゃんにお客さんもメロメロの様子。「サンちゃんに会いにきました!」と遊びに来る常連さんもあるのだとか。「我が家の看板犬、招き犬だね」と成英さんは言います。

今年はサンちゃんにとって3回目の秋田の冬。「最初は居間から板の間に出るのもためらっていたけど、今では雪道をお散歩するまでになったね」と美子さん。秋田の冬の寒さにも慣れてきたみたいです。

これからも、訪れるたくさんのお客さんを笑顔にしてくれるであろうサンちゃん♪ 皆さんもぜひサンちゃんに会いに門脇家へ遊びに行ってみてくださいね。

サンちゃんのご家族は、みんなの実家 門脇家の 門脇 成英さん・美子さん(中町内)

人、モノ、風景
上新城
の宝物

思ひ出づる ふるさと

私の小学校時の遊びを思い出してみる。
冬の今頃は、町内の約100mの坂道をソリで滑って速さを競い、空地では陣取り合戦を楽しんだ。

春はおにぎりを持参し野山を散策。竹を刀に見立てたチャンバラ遊びでは、各々ファンの時代劇スターに成りきって迷演技を繰り広げた。

夏は通学路の農道で見つけた孵化中のオニヤンマを胸に何匹もつけて学校へ行った(多い時は10匹以上)。同級生に誇らしく見せつけたと思う。今でも見かけるが、こんな光景は上新城でもここくらいではないだろうか。遊泳場だった新城川でオイカワやウグイを手づかみで捕まえたり、箸に縫い針をつけてガラスのかけらを水眼鏡にカジカを捕ったりもした。

秋はあけびや山ブドウ取りをし、水源地で鯉や鮒、ぐぢ(ハゼ)釣りもした。パッチ(めんこ)やビー玉遊び、野球で勝負を決するために腕を磨き、他町内へ遠征にも行ったものだ。



昭和38年3月上新城小学校卒業記念写真
(佐藤さんは最右列上から2番目)

これらを思い出せば、私の愛唱歌、「兎追いし…」で始まるあの「ふるさと」の場面が浮かぶ。当時町内は18戸。どの遊びも男女関係なく協力しなければ成立しなかった。今で言う男女平等あるいは参画の時代の先端を行っていたのかと笑い話のように思い出す。

石名坂町内会会長
佐藤 勲夫



さとぴあ講座レポート

小正月行事「ナマハゲと餅つき体験」

1月15日の夜に、農家民宿「重松の家」で上新城小又・白山地区に伝わる「ナマハゲ」が来訪するイベントが行われました。さとぴあが主催した講座で、ナマハゲと餅つきの体験がセットで企画されました。



PM 5:00

すでに暗闇となった屋外で餅つきが始まりました。スポットライトを照明に「よいしょ!」の掛け声で親子が杵を持ち上げ臼に打ち込み、合いの手で水を差すとあっという間にモチモチの餅がつきあがりました。

三匹のナマハゲは、奥座敷に用意されたお膳の前に座り込みました。主人から勧められ「重松のどぶろく酒」を呑むと、参加した子どもたちに「ちゃんと勉強して親の手伝いもしねばダメだどお!」。それを聞いて「ハイッ」と頷く子と、また男の子が泣き叫び母親にしがみつきました。



主人から参加者にナマハゲさんから頂戴した御札について説明があり、あちこちに散らばる藁の御利益が説かれました。

ナマハゲたちが「ワオーッ!」と奇声を上げて次の家に向かうため出ていくと、「それでは、晩ご飯を食べてください。つきたてのお餅、雑煮もありますよ〜」と重松の家の祐子さんの声が聞こえました。みんなホットしたような笑顔でお膳に着きました。



PM 6:00

静まり返った漆黒の扉を開けて、玄関からナマハゲが家の中に入り込んできました。

「ウオーッ!泣く(なぐ)子はいねがーッ!怠(なま)げる嫁はいねがーッ!」ケラ藁を纏(まと)い、木の刃包丁、桶を持って参加者の間を床の間へ向かって入り込んできました。

子どもたちは意外に冷静に構えていましたが、男の子が「怖いよー!ギャー」とお母さんにしがみつき胸に顔をうずめました。しばらく泣き続けました。



参加者の言葉

- 「地域に伝わる行事ナマハゲを生で観られて良かった」
- 「実家に帰ったように食べた食事が美味しかった。貴重な体験ができて嬉しい」
- 「ナマハゲの藁をいっぱい拾えて楽しかった」
- 「良い子にしていれば怖くなんかないよ、私、泣かなかったよ」



自由観覧

上新城ゆりの会

つるし飾り展

上新城の婦人グループ「ゆりの会」メンバーが作ったつるし飾りを展示します。わが子の健やかな成長を願って作る「つるし飾り」は、現代まで受け継がれてきた可愛らしいモチーフのひとつひとつに優しく深い想いが込められています。

日時 令和5年 3月26日(日)まで 10:00~18:00

場所 さとぴあ 玄関展示ホール

自由観覧

あきたの野鳥写真展

日時 令和5年 3月26日(日)まで 10:00~18:00

場所 さとぴあ 天窓廊下

写真提供/日本野鳥の会 秋田県支部

令和5年度 援農ボランティア 募集中!

ボランティア受入農家 募集中!

「上新城さとぴあだより・ふるさと版」は、上新城地区の瓦版です。次号の配布は、5月11日・12日の予定です。地区の皆さんにお知らせしたい情報がありましたら、「さとぴあ」までお寄せください。

詳細はお問い合わせください。

3月の講座一覧

3/1 水・8 水・15 水 かご編み体験 ~布テープでかごバッグを作る~ (全3回)

3/19 日 味噌づくり体験講習会

3/23 木 手すき和紙と端午の節句の置物づくり

3/29 水 飾り巻き寿司体験講座

